

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 病院救急車活用モデル事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2588)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,965 千円 (前年度予算額：3,335 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,335	3,335	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,965	3,965	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

医療機関が所有する救急用自動車を活用し、医療機関に所属する救急救命士の同乗により医療の質を担保した上で、患者搬送をモデル的に実施する。

(2) 事業内容

- ・病院救急車活用モデル事業の実施に必要な給与費、材料費、経費を対象に補助金を交付する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国庫補助金(医療施設運営費等補助金)の活用
※補助率 1 / 2 (国 1 / 2)

(4) 類似事業の有無

- ・類似事業なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,965	病院救急車活用モデル事業
合計	3,965	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 岐阜県保健医療計画（第7期）
第3部－第2章－第6節 救急医療対策

(2) 国・他県の状況

- ・ モデル的に実施するものであり、国庫補助が継続する限り継続して実施。

(3) 後年度の財政負担

- ・ 病院救急車を活用することで、消防救急車の適正利用が図られるため、消防機関がより緊急性の高い救急現場で活動することができ、地域医療の質が向上することから、県が補助を行うことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 医療機関間等の患者搬送において、医療機関が所有する病院救急車を活用することで、消防救急車による緊急搬送を要しない患者について、適切な搬送手段の選択及び搬送先病院の選定による救急医療体制の最適化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

モデル事業であり、事業が完了するまで指標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ・取組内容 病院救急車を活用した医療施設間の患者搬送におけるモデル事業への補助。 ・成果 事業が地域の救急医療体制に与える効果検証が行われた。
令和 3 年	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和 4 年	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	救急搬送件数は年々増加しており、病院救急車を利用した医療施設間搬送が促進されることで救急医療体制の改善につながる、
3	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	令和 2 年度からモデル事業が開始されており、指標等の集計がさ れていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	事業を全国で検証することで、効率化を図っている。
2	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	